

がんと闘うイラストレーターmaro を応援するチャリティー展覧会 「maro と愉快的仲間たち展」のご案内

動物たちを主人公にしたカラフルで温かい雰囲気のイラストで知られる、イラストレーターmaro。

彼女が35歳で侵された病は肺がん。

闘病生活に奮闘するmaroを少しでも支えようと、106人のアーティスト(宇田川誉仁、candy、金丸悠児、かおかおパンダ、カシワギマリほか)によるチャリティー展覧会が開かれます。

(参加アーティスト一覧 <http://home.u06.itscom.net/ojijan/artist.html>)

出品作品はイラスト、写真、版画、立体作品をはじめ、maroのイラストを原画にした新進気鋭の立体造形作家の特別コラボ作品も展示即売されます。

収益金は100%、maroの治療費用に。そして、一人娘のゆくりちゃん(3歳)のために活用されます。

この展覧会のために「maro 応援グッズ(maro ポストカード8枚+maro シール3枚)」を展覧会期間中1000円で限定500セット用意しました。現在活躍中のアーティストの作品をこれだけ多く見られる機会はそうありません。

ぜひご家族で遊びにきてください。

開催日時:11月18・19・20・21・22・23日(12時~19時、23日は17時まで)

開催場所:高円寺「ギャラリー・ジュイエ」(<http://home.u06.itscom.net/ojijan/place.html>)

高円寺「ギャラリー・ジュイエ」は、maroが今年の個展のために借りる予定だった会場で、今回、オーナーのご厚意により無償で提供していただきました。

(maroのプロフィール)

イラストレーターmaroは広島県生まれ、17歳からニューヨークでイラストを学び、長らくアメリカで絵本やポタリーペインティング(陶器の絵付け)作家として活動してきました。

2000年には絵本『早起きの贈り物』が第16回ニッサン童話と絵本のグランプリで佳作を受賞。

2003年の帰国後、一人娘を育てながらアルク出版の「こども英語」のイラストやWeb・携帯アニメを手がけるかわら、ポタリー教室を主催し、年に数回個展を開くなど意欲的な活動を続けています。

2010年春、原因不明の発熱や咳のため精密検査を受け、肺にがんが見つかりました。病状は現在も進行しているものの、副作用に耐えながら抗がん治療を続けています。

(詳しくはこちらへ)

がんと闘うイラストレーターmaro を応援するチャリティー展覧会

「maro と愉快的仲間たち展」HP

<http://home.u06.itscom.net/ojijan/>

(お問い合わせ先)

「maro と愉快的仲間たち展」ウェブマスター

オジマ ユウコ

odoriba@t01.itscom.net



「maro と愉快的仲間たち展」案内状